

2年神戸研修 ～ 防災を「自分事」として捉え、絆を深めた一日 ～

5月14日(木)、神戸研修を実施しました。今回の研修は「五感を使って学ぶ」「防災を自分事として捉える」「自分たちで研修を創り上げる」という3つを意識して、神戸の地を訪れました。

●「人と防災未来センター」での学び

午前中は、神戸市にある「人と防災未来センター」を訪問しました。震災語り部の佐々木さんから、震災当時の状況について詳しくお話を伺いました。佐々木さんは、未曾有の災害の中で多くのボランティアの方々に助けられた経験をもとに、「人と人とのつながりの大切さ」を力強く語っていただきました。

生徒たちは、31年前の出来事を決して遠い過去の話ではなく、いつ起こるかわからない「自分たちの課題」として真剣に受け止めていました。メモを取りながら、「もし今、地震が発生したら自分はどう動くべきか」を考える姿が印象的でした。

●「ネスタリゾート神戸」での活動

午後は、「ネスタリゾート神戸」でのアクティビティを楽しみました。午前中の真剣な表情から一変、大自然の中で仲間と協力しながら汗を流し、笑顔が弾ける時間となりました。集合時間になりバスに戻ってくる生徒たちの表情は、心地よい疲れとともに、充実感に満ちあふれていました。

●これからの生活に向けて

今回の研修では、命の尊さや協力することの重要性を、身をもって学ぶことができました。現地で感じた空気や、佐々木さんの言葉から学んだ「つながりの大切さ」を忘れることなく、これからの学校生活や日常生活に生かしてほしいと願っています。

